

初めての方、
大歓迎!

2013年度 科教協東京支部 春の研究集会

1日かけてじっくり勉強してみませんか?

これでいこう今年の理科

—自然科学を学ぶ楽しさを子どもたちと—



これだけは教えたい基礎的内容を学び合います。すぐに使える単元プランや、わかりやすい実験を紹介します。事前申し込みはいりません。どなたでも参加できます。

- **会場:** 芝中・高等学校 東京メトロ 日比谷線 神谷町 (3番出口) から徒歩5分
都営地下鉄 三田線 御成門 (A1出口) から徒歩10分
都営地下鉄 大江戸線 赤羽橋から徒歩15分
- **日時:** 4月14日 (日) 10:00 ~ 16:30 (受付開始9:30)
- **参加費:** 2,000円 (科教協会員は1,500円 学生は1,000円) 当日払い
午前中のみ、午後のみ参加は1,000円
- **主催:** 科学教育研究協議会 東京支部

プログラム (各分科会の詳細は裏面)	10:00 ~ 12:30 分科会 (午前の部)
	12:30 ~ 14:00 昼食休憩
	(13:00 ~ 13:50) 科教協東京支部 2013年度総会 (1階会議室)
	14:00 ~ 16:30 分科会 (午後の部)

大好評!

各出版社の書籍、教材・教具の販売コーナーもあります。

■ 科学教育研究協議会 (科教協) は1954年設立の民間教育研究団体です

科教協は「自然科学をすべての国民のものに」をスローガンに、自然科学が楽しくわかる理科授業の創造をめざす教育研究団体です。創立以来、全国の教師や研究者など、幅広い人々の手によって研究と運動を発展させてきました。月刊誌『理科教室』(出版 日本標準)を編集しています。

■ 都内各地にある理科サークルに参加してみませんか?

研究授業や実験のこと、理科授業について何でも、気楽に聞けます。当日受付で、都内のサークル一覧を配布します。

お知らせ

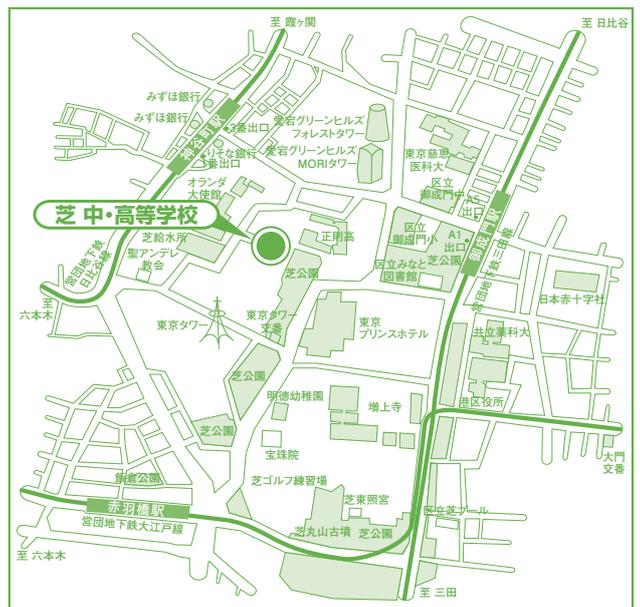
2013年8月2日(金)~4(日)は、
科教協全国研究大会(岩手大会)です。
<会場:北上市 専修大学北上高校>

そして

2014年8月2日(土)~4日(月)は
**科教協全国研究大会を
東京でおこないます**

- 1日目 お楽しみ広場、記念講演、ナイター
- 2日目 分科会、ナイター
- 3日目 分科会、終わりの全体会

運営委員会に、是非あなたの力を貸してください。



<問い合わせ>

科教協東京支部事務局長 高鷹敦 (こうたかあつし)
〒124-0012 葛飾区立石8-6-1-802
e-mail green31-kohtaka@m2.gyao.ne.jp

<科教協東京支部HP> <http://t-tokyosibu.net/>

- 前年度までの感想や参加理由を読むことができます。
- 参加表を印字して事前に書いておくことができます。
- メールニュースも申し込めます。

分科会一覽

※レポートの順番は都合により入れ替わることがあります

分科会		分科会内容
小学校低学年		<p>(午前) ①「1・2年生の年間計画と「自然のたより」」 低学年の子どもにとって、自然にはたらきかけることがどれだけ大切なことか、どんな学習を組織したらいいのか、どんな力を育てることができるのか、一緒に考えましょう。 高鷹美恵子さん(足立理科サークル)</p> <p>(午後) ②「あまい水からい水」(2年) レポートは初めてですが、塩と砂糖を見ただけで、とても喜んだ授業です。こういう知的好奇心を満足させる活動をさせたいと思います。 遠山 晶子さん(あさくさばし科学サークル)</p> <p>③「こまづくり」 1時間ごとにはっきりとしたねらいを持つ授業を計画することで、楽しく活動しながら科学の本質に迫る体験ができます。 横田美江子さん(足立理科サークル)</p>
小学校 3年		<p>(午前) ①「年間計画」と1学期の生物学習 3年生から始まる理科の学習。子どもたちはとても楽しみにしています。期待に応える授業を考えたいです。年間を見通した指導計画を提案し、1学期の生物学習をもとに、授業づくりについてお話します。 高橋真由美さん(足立理科サークル)</p> <p>(午後) ②「光あつめ」 鏡や虫めがねを使って、光を集めたりはね返したりする体験を通して、光の性質について学ぶプランの実践を報告します。 増田 晶子さん(板橋・練馬理科サークル)</p> <p>③「動く仕組みを考えるおもちゃづくり」 表をつくるためではない、動く仕組みが楽しくわかる授業を、風で動くおもちゃを実際に作りながら、一緒に考えていきたいと思います。 堀 雅敏さん(中央沿線理科サークル)</p>
小学校 4年		<p>(午前) ①年間計画と授業づくり「電流と回路」の授業例 1年間の授業計画と、特に前半年分の重要ポイントを説明します。「電流と回路」を例に、授業計画と1時間毎の授業づくりについて、発問や板書、話し合い、実験、ノートについても実践提案します。 佐久間 徹さん(南多摩理科サークル)</p> <p>(午後) ②「季節と生き物」 自分で見つけた動植物の様子を一年を通して「見つけたよカード」につづり、季節と生き物の関わりを学んできました。子どもたちの作品を紹介しながら、取り組み方を話します。 小笠原千恵子さん(足立理科サークル)</p> <p>③「空気と水」 空気や水が押し縮められるのかを学習する単元ですが、前提として、「空気にも重さや体積がある」と知ることが大切です。学んだことを生かして課題を解決できる授業を組み立てます。 児玉久美子さん(中央沿線理科サークル)</p>
小学校 5年		<p>(午前) ①5年の理科でだいたいじにしたいこと 年間計画の紹介とそ中でだいたいじにしたい内容を検討します。 佐々木 仁さん(東京小学校理科研究会)</p> <p>(午後) ②動物の繁殖 「メダカの育ち方」など、動物が子孫を残すためにどんな体のしくみと生活をしているか、提案します。 藤倉 敦子さん(東京小学校理科研究会)</p> <p>③植物の繁殖 花から実へ植物が子孫を残すためにどんな生活をしているか、授業の流れと教材の紹介します。 安藤 佳子さん(足立理科サークル)</p> <p>④理科の授業づくり 1時間の授業をどう進めるか、実践例をもとに具体的に検討します。 佐々木 仁さん(東京小学校理科研究会)</p>
小学校 6年		<p>(午前) ①年間計画と授業づくり 6年生の理科でだいたいじにしたい内容と1時間の授業をどう進めるかを提案します。 小幡 勝さん(多摩川理科サークル)</p> <p>(午後) ②物の燃え方 気体の学習から物の燃え方へ、具体的な実験も含めて提案します。 石川 直彦さん(板橋・練馬理科サークル)</p> <p>③人のからだ ヒトの栄養器官である消化器・循環器・排泄器をどう教えるか、紹介します。 宮崎 亘さん(東京都 小学校)</p>
中学・高校	物理	<p>(午前) ①回路の授業 2012年度、高2の物理1(全員必修)で行った回路の授業を報告します。キルヒホッフの法則の理解を目指しました。 川島 健治さん(東京物理サークル)</p> <p>(午後) ②原子物理の授業(中3) 原子物理の授業(約4時間分)について実践報告をします。中学生に何をどこまで教えるのがよいか、参加者の皆さんと一緒に検討します。 松本 節夫さん(東京物理サークル)</p> <p>③実験映像を用いて力を見つけさせる授業 黒板に投影した演示実験の映像に力の矢印を上書きさせることで垂直抗力、浮力などの力を発見させる手法を紹介します。 水上 慶文さん(横浜物理サークル)</p>
	化学	<p>(午前) ①物質学習から始める中学1年の授業ー物質の性質、溶解と結晶、物質の状態変化までー 「植物の学習」よりも先に「物質の学習」から始める中学1年の理科授業を提案します。なぜ「物質の学習」が大切なのか、具体的に話したいと思っています。 伊藤 浩史さん(中学校理科サークル)</p> <p>(午後) ②化学変化とイオン 教員4年目、3年生の化学分野を教えるのは二度目になります。本レポートは、前回の反省を活かしながら、今までの学習内容のつながりを意識した授業計画を提案するものです。是非検討をお願いします。 佐久間俊幸さん(板橋・北中学校理科サークル)</p> <p>③「高等学校理科での新指導要領が始まって」 高等学校理科(化学)における新指導要領が始まって1年が経ちました。これまでの取り組みや課題、4月から始まる4単位科目のことなどを実験を交えながら報告します。 兵藤 友紀さん(芝中学・高等学校)</p>
	生 地 物 学	<p>(午前) ①「天気とその変化」(中2) 雲のできる仕組み、風の原因、日本周辺の気候の特徴について課題形式で学習するプランです。特に海陸風について「水平対流」を導入して教材化しました。 平山 勲さん(生物学教育研究サークル)</p> <p>(午後) ②「細胞分裂と遺伝」(中3) DNAの動きと細胞分裂における染色体の挙動の意味を理解させた後に、遺伝の仕組みを学習するプランを紹介いたします。 山崎 慶太さん(生物学教育研究サークル)</p> <p>③「高校生物基礎の授業で大切にしたいことー遺伝ー」(高校) 新科目「生物基礎(2単位)」の内容は、ミクロからマクロの階層レベルで内容が構成され、遺伝の法則がなくなり、遺伝分野の内容が遺伝情報の流れ(セントラルドグマ)となるなど従来の高校生物教科書とは大きく変わりました。これらをふまえ、高校の遺伝学習について検討します。 大谷康治郎さん(生物学教育研究サークル)</p>
障害児・者		<p>(午前) 今年は、どんな学習を。年間計画を考え合い、交流もおこないましょう。 ①「ものに働きかける学習・年間計画」 昨年度行った内容と、子どもたちが捉えたこと。 玉田 洋子さん(調布授業づくりサークル)</p> <p>(午後) ②「自然に働きかける学習・年間計画」 言葉や感覚を豊かに自然を捉える。 伊藤 廣子さん(豊島授業づくりサークル)</p> <p>③「空気の学習」 1年生の子どもたちと初めて実験や物作りに取り組みました。子どもたちに興味をもたせる工夫を考えた授業の報告です。 遠山 智美さん(調布授業づくりサークル)</p> <p>④「重さの学習」 秋の研究集会で学んだ重さの学習を子どもたちと取り組みました。授業を進める上での工夫や子どもたちの様子を報告します。 中里 照久さん(江東授業づくりサークル)</p>

※秋の研究集会では「自然と社会」分科会を設定します。多くの方からのレポート提案をお待ちしています。